

全国市区町村長アンケート

共同通信が全国の市町村長に実施したアンケートで、現行の健康保険証を来年秋に廃止する政府方針に対し、4割超が延期を求めているのが1日、分かった。予定通りの廃止を求めるのは3割弱だった。廃止はマイナーバーカードに保険機能を持たせる「マイナ保険証」=Nanocardの事業への一本化に伴うもので、他の個人情報との付け合わせなどカードのトラブルが相次ぎ、住民の不安が高まっていることが影響した。

【解説】

「予定通り」は3割弱

共同通信が行った「マイナ保険証」に関する市町村長アンケートによると、来年秋に「予定通り廃止すべきだ」としたのは29%。「廃止を延期するべきだ」としたのは23%。「廃止を撤回すべきだ」としたのは20%、「その他」は28%。全1741市町村長が回答した。

4市町長は政府方針の来年秋に「予定通り廃止すべきだ」とした。アンケートには県内17市町長のうち14市町長が回答した。

「廃止すべきだ、国民の不安を払拭し、理解を求めることが重要」と指摘。おおい町は「システム上の不具合や課題をしっかりと解消した上で臨むべきだ」と求めた。福井市は「法律に基づいて、國の指導により準備を進めていく」、若狭町は「國の推移を見守る」とした。

(国際社会)

県内4市町 延期求める

共同通信が実施した市町村長アンケートは7月に実施。全1741市町村長が回答した。回答した首長のうち、来年秋予定の廃止時期について「予定通り廃止すべきだ」としたのは29%。「廃止を延期するべきだ」としたのは23%。「廃止を撤回すべきだ」としたのは20%、「その他」は28%。28%の「その他」は回答者の意見があつた。「他の意見もあつた」という回答は2%。

来秋の健康保険証廃止にめぐらす市町村長の受け止めに対する市町村長の回答結果

回答	割合	回答数
予定通りるべきだ	29%	505人
延期すべきだ	23%	41人
撤回すべきだ	20%	37人
その他	28%	505人

※7月31日時点。1370人が回答

マイナ問題 住民不安

保険証廃止「延期を」「4割」

「国民の理解を得てからにすべきだ」(三郷市農林市)など不安払拭の優先を訴える意見が多い。「総点検の結果を踏まえ判断すべきだ」とある「官崎県都城市」との声もあった。

延期を求める理由として、マイナカードやマイナバンク制度に対する住民の不信感を挙げる自治体が多い。高齢化が進む自治体では住民の抵抗感が強いとしが回響した。

一方で、廃止は相違ないとの意見が多い。公的給付金の據え込みに他人の座がひきかわるといつては、マイナ保険証に別れたトラブルが続発した。

人の情報が収集される、公的給付金の據え込みに他人の座がひきかわるといつては、マイナ保険証に別れたトラブルが続発した。

8/27/2024

保険証廃止

自治体、負担増に苦慮

急速デジタル化「業務過多」

健保証を廃止したト
イナンバーカードに一本化
する政府方針を巡り、自治
体から対応に悩む声が上が
る。デジタル化に適応でき
ない住民ばかりではない」と
を、現場は肌で感じている
ためだ。不安を訴える住民

への説明や、トラブルへの
対処」。職員の負担も増し
ていく。【一面に本記】
「医療を受けられるかど
うかは命にかかる」とい
う指摘もあり、「市民の不安は当然」。
茨城県つくばみらい市は「
高齢者は現行保険証の廢
止に抵抗感を持つ人が多い
とみられ」「不安を持つ住民
への対応に苦慮している」
(愛知県東栄町)。奈良県
御所市も「高齢化が進む自
治体では、カード自体の音
及が厳しいのが実情だと
打ち明ける。

を求めている。青森県大鰐
町も「デジタル弱者の対応
が重要。急速な移行は適切
ではない」とする。
高齢者は現行保険証の廢
止に抵抗感を持つ人が多い
とみられ「不安を持つ住民
への対応に苦慮している」
(愛知県東栄町)。奈良県
御所市も「高齢化が進む自
治体では、カード自体の音
及が厳しいのが実情だと
打ち明ける。

調査の方法 全国1741市区町村長宛てに7
月、インターネットを通じて、質問票を送付した。
主に自治体がオンラインの回答フォームに直接入力
する方式で、31日時点(7月29日)に当たる1370市区
町村長からの回答を得た。

を訴える声も。栃木県下野
市は「一本化のメリットは
理解しているが、現場は業
務過多になっている」と苦
惱する。

保険証廃止後は、マイナ
ー保険証を持たない人向けの
資格確認書発行など、負担
が一層増す。山口県萩市は
「廃止後の事務負担を把握

する必要があり、運用方針
を早期に示してほしい」。
「対策が二転三転し、方針
が決められない」(富山県
砺波市)との不満も漏れる。